

新商品

“生産ラインのトラブルをリアルタイム収集する IoT ツール”
LAN 接続タイプ アンドン用受信機を発売



WCL-426R (日本市場向け)



WCL-920R (北米市場向け)

ヘルツ電子株式会社は、「生産ラインで発生したトラブルに即時対応したい」「生産ラインで発生したトラブル履歴を分析したい」というお客様向けに、離れたヒトやモノの呼び出しを支援するワイヤレス呼び出し装置(*1)の新商品として「LAN 接続タイプ アンドン用受信機 WCL-426R (日本市場向け) /WCL-920R (北米市場向け)」を発売いたします。

新商品「LAN 接続タイプ アンドン用受信機 WCL-426R/WCL-920R」は、無線アンドンシリーズ AN426 II /AN920(*2)の表示機能のない受信機であり、「作業員からの生産ラインの遅れ防止のためのリリースマンの呼び出し」、「供給部品切れ防止のためのフォークリフト・無人搬送車 (AGV)・トラック等の搬送車の呼び出し」や「無人搬送車 (AGV)・加工機等の機械からの異常通知」といった生産ラインのトラブル発生連絡をワイヤレスでリアルタイム受信し、LAN 経由で外部出力が可能です。PC・タブレット・クラウド上のアプリケーションで、生産ラインのトラブル発生情報を活用・分析することで、生産ラインの稼働状況の可視化や生産ラインの改善に役立てることができます。

お客様の生産現場に弊社の無線アンドンシリーズ AN426 II /AN920 が導入されている場合、設置済みの送信機 AN426T II /AN920T をそのままご利用いただけます(*3)。

また、Windows 対応アプリケーション「生産工程支援ソフトウェア for WCL シリーズ WCL plus」をご利用いただくと、最大 10 台のアンドン用受信機からトラブル発生情報を LAN 経由でリアルタイム収集し、トラブル発生履歴を CSV 形式で保存することができます。

今後もワイヤレス呼び出し装置商品群のラインナップを拡充し、世界中の生産現場の品質向上・生産性向上に貢献して参ります。

商品カテゴリ	商品名	型式	発売日
ワイヤレス 呼び出し装置	LAN 接続タイプ	WCL-426R (日本市場向け)	2018年9月3日
	アンドン用受信機	WCL-920R (北米市場向け)	2018年9月3日
	生産工程支援ソフトウェア for WCL シリーズ	WCL plus	2018年9月3日

LAN 接続タイプ アンドン用受信機 WCL-426R/WCL-920R の主な特長

WCL-426R/WCL-920R は、「生産ラインで発生したトラブルに即時対応したい」「生産ラインで発生したトラブル履歴を分析したい」というお客様のため、配線工事不要で導入が容易に行える LAN 接続タイプ アンドン用受信機です。WCL-426R は日本市場で、WCL-920R は北米市場（アメリカ、カナダ）でご利用いただける商品です。

1. 作業員や機械からのトラブル発生連絡をリアルタイム収集・・・WCL-426R/WCL-920R は、生産ラインの作業場所や機械に設置された送信機 AN426T II /AN920T から送信されるトラブル発生連絡をワイヤレスでリアルタイム受信することができます。

- (1). 送信機には、作業員がトラブル発生を連絡するための「押しボタン4点(オレンジ、赤、緑、白)」と、機械がトラブル発生を連絡するための「外部入力4点(オレンジ、赤、緑、白)」の2種類の入力方法があり、いずれかを選択可能です。各色は、生産ラインで発生しうるトラブルに合わせて、「赤：異常発生」「オレンジ：生産部品切れ発生」「緑：生産完成品運搬の依頼」「白：トラブル解消」といった意味を持たせて運用していただくことができます。



- (2). WCL-426R の通信距離は「屋内約 120m、見通し約 300m」であり、最大 8 台の中継器(TRV426)を使用して多段中継することで通信距離を約 1km まで延長することができます。

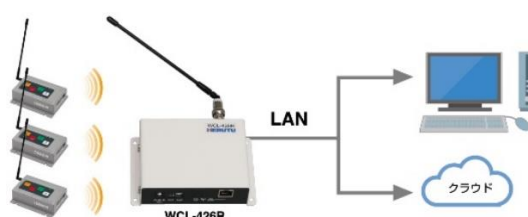


一方、WCL-920R の通信距離は、「スタンダードモード」の場合は「屋内約 500m、見通し約 1km」、「ロングレンジモード」の場合は「屋内約 1km、見通し約 2km」です。

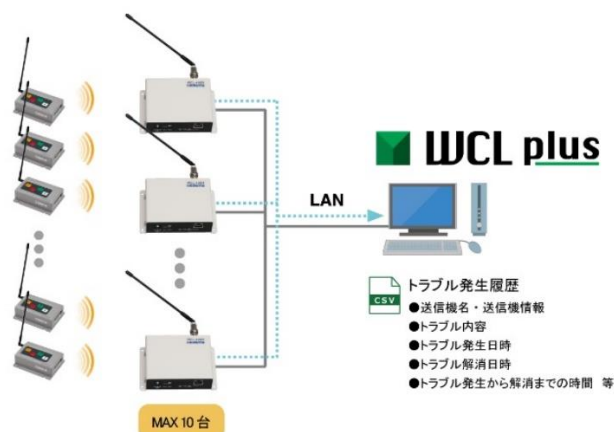
- (3). WCL-426R は、「WCL-426R 1 台につき、最大 800 台の送信機とワイヤレス通信可能」であり、「1 工場内で最大 10 台の WCL-426R を共存可能」です。つまり、1 工場内で最大 8,000 か所からトラブル発生連絡の収集が可能です。一方、

WCL-920R は、「WCL-920R 1 台につき、最大 800 台の送信機とワイヤレス通信可能」であり、「1 工場内で最大 16 台の WCL-920R を共存可能」です。つまり、1 工場内で最大 12,800 か所からトラブル発生連絡の収集が可能です。

2. 生産ラインのトラブル発生情報を LAN 経由で外部出力・・・WCL-426R/WCL-920R は、受信したトラブル発生連絡を LAN 経由で外部出力が可能です。PC・タブレット・クラウド上のアプリケーションで、生産ラインのトラブル発生情報を活用・分析することで、生産ラインの稼働状況の可視化や生産ラインの改善に役立てることができます。



また、トラブル発生の特レーサビリティ確保をしたいお客様は、Windows 対応アプリケーション「生産工程支援ソフトウェア for WCL シリーズ WCL plus」をご利用いただくと、最大 10 台のアンドン用受信機が受信したトラブル発生履歴を CSV 形式で保存することができますので、CSV 形式を扱えるアプリケーションで容易にご活用いただけます。



3. 無線アンドン AN426 II/AN920 と連携可能・・・生産現場に弊社の無線アンドンシリーズ AN426 II/AN920(*2)が導入されている場合、設置済みの送信機 AN426T II/AN920T をそのままご利用いただけます(*3)。WCL-426R/WCL-920R を追加設置することにより、AN426 II/AN920 を導入している生産ラインの稼働状況の可視化や生産ラインの改善に役立てることができます。

<日本市場向け無線アンドンシリーズ AN426 II >



<北米市場向け無線アンドンシリーズ AN920 >



(*1)ワイヤレス呼び出し装置は、組立工程の作業員からの異常発生呼び出し、生産ラインの遅れ防止のためのリリースマンの呼び出し、供給部品切れ防止のためのフォークリフト・無人搬送車 (AGV)・トラック等の搬送車の呼び出しなど、離れたヒトやモノの呼び出しを支援する装置です。アンドンからウェアラブルまで取り揃えており、様々な用途でご利用できます。また、経済産業省と RRI (ロボット革命イニシアティブ協議会) が中堅・中小製造業が簡単に低コストで使える IoT ツールとして認定した「スマートものづくり応援ツール」に採用されております。

(*2)ワイヤレス呼び出し装置の無線アンドンシリーズ AN426 II/AN920 は、工場内に“表示”と“音”で生産ラインの状況をお知らせする商品です。日本市場向けの AN426 II は、AN426R II (大型 8 窓タイプ)/AN426RH II (大型 4 窓タイプ)/AN426RM II (中型 8 窓タイプ)/AN426RS II (1 窓タイプ)、北米市場向けの AN920 は、AN920R (大型 8 窓タイプ)/AN920RH (大型 4 窓タイプ)/AN920RM (中型 8 窓タイプ)のラインナップをご用意しており、ご要望に応じてカスタマイズもいたします。

(*3)お客様の送信機・受信機の周波数の変更が必要になる場合があります。

各商品の主な仕様や詳細に関しては、下記にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

ヘルツ電子株式会社 <http://www.herutu.co.jp>

営業部 担当：藤田、金本

E-Mail：info@herutu.co.jp

お電話：053-438-3555

【ヘルツ電子株式会社について】

1972年の創業以来、お客様の“離れたモノに、確実に情報を伝達したい”というニーズに応えるべく、高周波とデジタル複合技術によるワイヤレス（無線）通信システムおよび表示器の開発・製造・販売・サポートを一貫して提供して参りました。全てを一貫して提供しているからこそ、「お客様のご要望にきめ細やかに対応」し、「迅速に納入」を実現いたします。